

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度 枚方市空飛ぶクルマビジネス共創部会 第2回会議
開催日時	令和5年11月30日（木）15：00～16：30
開催場所	WEB 会議形式
出席団体	経済産業省 近畿経済産業局、国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所、大阪府 商工労働部、大阪府 枚方土木事務所、北大阪商工会議所、中央復建コンサルタンツ株式会社、双日株式会社、ドローントリビューン、大阪工業大学、三井住友海上火災保険株式会社、日軽エンジニアリング株式会社、オリックス株式会社、株式会社 関西ぱど、SKYSCAPE 株式会社（順不同）
案件名	<p>1. 空飛ぶクルマビジネス共創部会の参画事業者について</p> <p>（1）新規オブザーバー（淀川河川事務所、枚方土木事務所）のご紹介</p> <p>（2）新規会員（三井住友海上火災保険株式会社、日軽エンジニアリング株式会社）のご紹介</p> <p>2. ワーキンググループからの報告</p> <p>（1）効果検証グループからの報告、意見交換</p> <p>（2）可能性検証グループからの報告、意見交換</p> <p>（3）社会受容性向上グループからの報告、意見交換</p> <p>3. ユースケースの検討について</p> <p>（1）ユースケース等のアンケート結果の報告、意見交換</p> <p>4. 今後の取り組みについて</p> <p>（1）部会の今後の取り組みについて意見交換</p> <p>5. その他</p>
主な意見	<p><b>案件2. ワーキンググループからの報告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回算出いただいた経済波及効果は非常に価値のある成果である。</li> <li>・市がユースケースや目標を示す必要がある。</li> <li>・市としては、なるべく定量的な市場規模を把握し、市民や市内企業、空飛ぶクルマの関係団体等にお示しして枚方市の可能性を発信していきたい。ただ、空飛ぶクルマを活用して枚方市で進めていきたい事業や課題は現状ないので、今後、まちに対する空飛ぶクルマの必要性を検討していく必要がある。その過程の今後の方向性や考え方は部会での検討が必要である。</li> <li>・提案いただいた ConOps（コンオプス）という新しい概念は、V ポート整備に向けて必要な調査項目を様々なステップ、フェーズに分けて具体的に検討していくもの。枚方市をモデルケースとして調査していきたい。</li> <li>・まずは市としての目標設定が最初のステップであり最も重要になってくる。枚方市と一緒に今後のAAM導入に向けた目標設定をしていきたい。</li> </ul> <p><b>案件3. ユースケースの検討について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市のユースケースは、観光資源としての遊覧飛行や、医療や災害時</li> </ul>

の緊急輸送、商業施設等への旅客輸送などが挙げられる。また、移動ではない観光利用としての使い方による新たなビジネスチャンスにも可能性がある。

**案件4. 今後の取り組みについて**

- ・枚方市として空飛ぶクルマどのように使っていくのかという方向性や考え方を明確に示していくことが重要であるご指摘いただいた。部会として、枚方市に対して一定の目標やビジョンを検討、策定することを働きかけ、要望していきたい。
- ・枚方市への要望の際には本部会の議論がどう機能するのかということについても触れていただきたい。ここでの議論が枚方市の今後設定される目標に対してどのように機能するかということについても言及いただきたい。

事務局

枚方市 総合政策部 企画政策室 政策推進課